



1. 誓いの言葉を述べる佐藤亜優果さん/2. 凛とした表情で立志証書を受け取る田中真希さん/3. 芸術鑑賞会では郡山交響楽団の皆さん&オペラとミュージカルの二刀流歌手・増田朱紀さんによるコンサートで会場を魅了した/4. 感謝を込めて代表の片平日葵さんから花束を贈呈した

「確かな志を抱き」

中学3年生への進級を目前に、大人になることへの自覚を深めることを目的とする伊達市立志式。今年434人の中学2年生を対象として、1月30日(土)に保原体育館で開催されました。代表の佐藤亜優果さんは「今まで支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れず、仲間と共に歩み、未来を切り開きます」と誓いの言葉を述べました。生徒たちの豊かな感性を育む目的で行われた芸術鑑賞会では、郡山交響楽団と歌手の増田朱紀さんによるコンサートが行われ、会場は大きな拍手に包まれました。



市長コラム 第74回

「つながりを広める」

須田博行

過去の
コラム



よく市外の人から「伊達市には、おいしい農畜産物や豊かな自然、深い歴史など全国に誇れるものがたくさんあるよね。けど、それが十分に知られていないよね」と言われます。私自身、東京や北海道、量販店などのトップセールス、東京ドームや都内イベントでのPRなど、出来る限り出向いて伊達市を売り込んでいますが、まだまだ足りないかと反省しています。

さて、ここ最近、全国の市町村とのつながりが増えてきています。内容を今月号で紹介しているのでご覧ください。

2月2日には、伊達氏初代・伊達朝宗ゆかりの地である「茨城県筑西市」と友好交流協定を締結しました。筑西市誕生20周年記念式典と併せて行われ、その式典に参加していた筑西市と交流のある北海道や東京、西日本の自治体とつながることができました。早速、その中のある自治体とはイベント参加に向けた具体的な話し合いが始まっています。

2月7日には、おにぎりを通じ

て伊達鶏のおいしさを全国に発信するため、「おにぎりサミット2025」に参加しました。東京の有名店「鳥よし」の店主猪股善人さん監修の「伊達鶏の肉みそおにぎり」は大好評でした。このサミットを通じて北は北海道から南は九州の10自治体とつながることができました。

また、友好交流ではありませんが、2月10日に、人工衛星を活用した水道漏水調査を共同で実施するため、宮城県内の5自治体と協定を締結しました。この協定を機に水道以外の連携に発展することが期待できます。

伊達市のブランドメッセージは「#幸せがじゅずつなぎになるまち伊達」です。伊達市の魅力を市内外に発信していくキャッチコピーとして市民ワークショップで考案されました。重要なものが、じゅずつなぎにつながっていくことです。友好都市の友好都市は友好都市ですので、ひとつのつながりを大切にさらにつながりを広めていきたいと思っています。